

第3回野鳥園臨港緑地干潟・湿地環境保全事業アドバイザーボード 議事概要

1 日時 平成27年12月22日（火曜日） 午前10時～午後12時20分

2 場所 大阪市役所本庁舎第2 共通会議室
大阪市北区中之島1丁目3番20号

3 参加者 **【委員】**
鴻原委員、宮下委員、山西委員、矢持委員
【協働事業者】
NPO 法人南港ウェットランドグループ 高田理事長
【事務局】
(住之江区役所)
教育マネージャー 山崎
(港湾局)
総務部集客施設担当課長 藤田、集客施設担当課長代理 佐藤、
総務部担当係長 金光、長嶺、白川
【傍聴者】
3名

4 議事 ① 目標管理シートの前回からの変更点
② 目標管理シートに基づいた平成27年度事業中間報告
③ アンケート集計結果報告
④ 干潟環境改善に関する意見交換

5 議事概要

- ① 目標管理シートの前回からの変更点
- ・ 干潟、塩性湿地、汽水池を含んだ広い意味で湿地という言葉を用いることによって、「干潟再生PT」という名称ではなく、「湿地再生PT」という名称にしてはどうか。
 - ・ 目標管理シート2ページ「将来像（平成31年3月末時点）に記載されている3「有機物が堆積しやすく…」の記載は「有機物が適度に堆積しやすく」という表現を加えるべきである。
- ② 目標管理シートに基づいた平成27年度事業中間報告
- ・ 目標管理シート6ページの中間評価は「未達成見込」となっている。有料催事が開催出来ていないことから、このような評価になったと思われるが、アンケートの集計な

ど有料催事につながるアクションを起こしている点は評価できるので、「概ね達成見込」にしてもいいのではないかと。

- ・ 野鳥園の広報に関しては、ホームページ内容の充実を図るとともに、野鳥園自体の存在を知らない人に対して、魅力を PR できるような広報が有効である。
- ・ 港湾局と協働事業者だけの連携ではなく、野鳥園を中心として大阪市内の各局、各区役所で連携することが重要である。

③ アンケート集計結果報告

- ・ アンケートの集約作業やまとめ作業については、港湾局だけではなく、関係者と一緒に行うべきである。

④ 干潟環境改善に関する意見交換

- ・ 干潟の環境改善については、野鳥園内で調達できる素材を使い、手を加えるという「地産地消」の形がよい。
- ・ 野鳥園の閉鎖的な環境や、データの収集方法等を考慮し、詳細は湿地再生 PT で相談し、来年度の課題とする。